

## 動作時の注意

- 昼/夜の判別は照度センサーを使用し、約 10Lux を基準に判別します。  
(注意：夜設定時でも、昼間に辺りが暗くなった時は動作します。)
- 昼/夜の判別で、時間外の場合は電源投入後にバッテリー残量表示が数回点滅し、動作待機になります。その後、時間内に自動で監視状態に切り替わります。
- 電源スイッチを入れた際に、1 分間ランプとブザーが点滅した時はバッテリーを交換してください。
- トリガー作動後は電源切と同じ状態ですので、再セットする場合は電源スイッチを切にしてから、再度入りしてください。

## 設置時・仕掛け時の注意

- **作業中は必ず電源スイッチを切にしてください。**
- ボックス内部に水が入らないようにしてください。
- マグネットに錆が発生すると性能が低下します。ヤスリ等で取り除いてください。
- センサーレンズが汚れている場合は汚れを拭きとってください。

## 製品保証に関して

ご購入後 1 年以内の故障は無償にて修理対応します。ただし、以下の理由での故障については有償対応となります。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| ① 取り扱い上の不注意・誤った使用方法  | ② 天災・火災・盗難・外的破損 |
| ③ お買い上げ後の輸送・移動・落下    | ④ 保存上の不備        |
| ⑤ 弊社指定の修理者以外の修理または改造 | ⑥ 当製品の使用目的以外の使用 |

- 修理は弊社持ち込み修理です。故障機器の取り外しとご返却はお客様の負担にてお願いします。
- 弊社では、あらゆる事故に対する責任は負いかねますのでご了承願います。

## 仕様

型番	: AMS-200-MT	電池寿命	: 使用から約 3 年
構造	: 簡易防滴	スタンバイ電流	: 10uA 以下
使用温度	: -10 ~ +50°C	センサー範囲 (直径)	: 温度/約 30cm 距離/約 5cm
電源電圧	: DC6V	外形寸法	: (D)240mm×(W)140mm×(H)115mm 突起除く
電池の持ち	: 約 2 か月~	質量	: 2.7kg(バッテリー含まず)

## アニマルセンサー 2 保証書

持込修理

品名	アニマルセンサー 2
型式	AMS-200-MT
S/N	AMS200-S _____ ※製品外箱および本体 BOX 内部に表示されています。
保証期間	納入日から一年間
納入日	年 月 日
お客様	
取扱販売会社	

## 株式会社アイエスイー

〒516-0802  
三重県伊勢市御園町新開 80 番地 大西ビル 301 号  
TEL:0596-36-3805/FAX:0596-36-3847

URL <http://www.ise-hp.com/>

Email [info@ise-hp.com](mailto:info@ise-hp.com)



獣サイズ判別センサー式自動捕獲システム

特許第 5696997 号

# ICT アニマルセンサー 2

取扱説明書



**ご使用の前に説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
誤った使い方は重大な事故につながる危険性があります。**

## 安全上のご注意 必ずお読みください

- **電源スイッチが「入」の状態でのバッテリー交換、ゲート付近での作業は危険ですので、絶対におこなわないでください。**
- センサーボックス内に水を入れないでください。故障破損の原因となります。
- バッテリーの寿命は使用から 3 年です。それ以降のご使用は液漏れや破裂などの原因となりますので、3 年経過後は弊社指定のバッテリーに交換してください。
- バッテリーの充電は弊社指定の 6V シールドバッテリー充電器をご使用ください。
- 当製品のバッテリーは他の機器では使用しないでください。
- 当製品の改造は非常に危険ですのでおこなわないでください。

## ご使用の前に

**電源が「切」になっていることを確認し、電源コネクタを挿してください。**



※バッテリーは常時放電します。使用未使用にかかわらず、月 1 回は必ず充電するようにしてください。

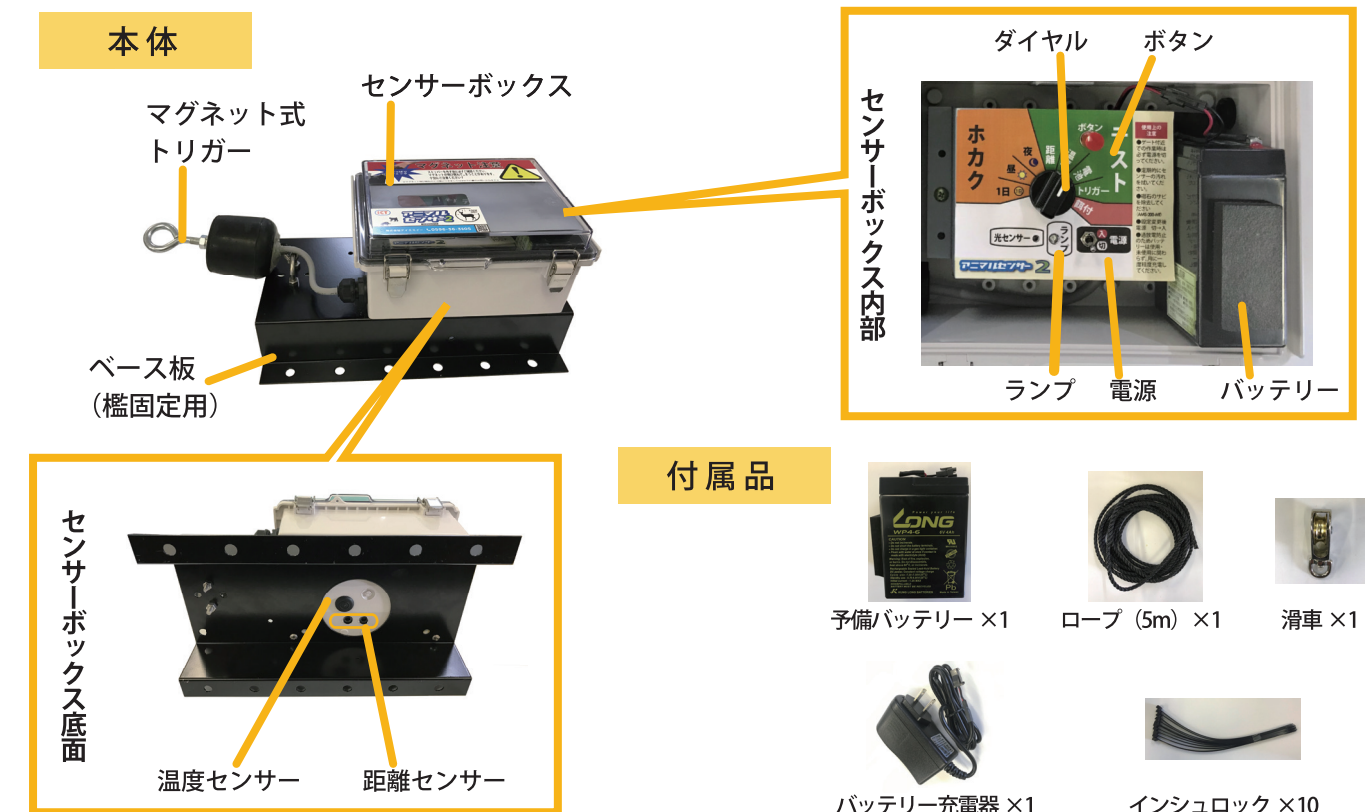


突起がある方が上

爪がある方が上

## 製品の名称

当製品をお使いになる前にすべての品がそろっていることを確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですが弊社までご連絡ください。





## シールドバッテリー充電方法

充電完了時間 約6時間 (目安)

バッテリー異常の場合はアニマルセンサーに接続しても作動しません。  
当充電器はアニマルセンサー用シールドバッテリー専用です。他製品への使用はお控えください。  
破損などに十分ご注意ください。



① AC100V 電源に接続。  
緑色のランプが点灯。  
(待機中)

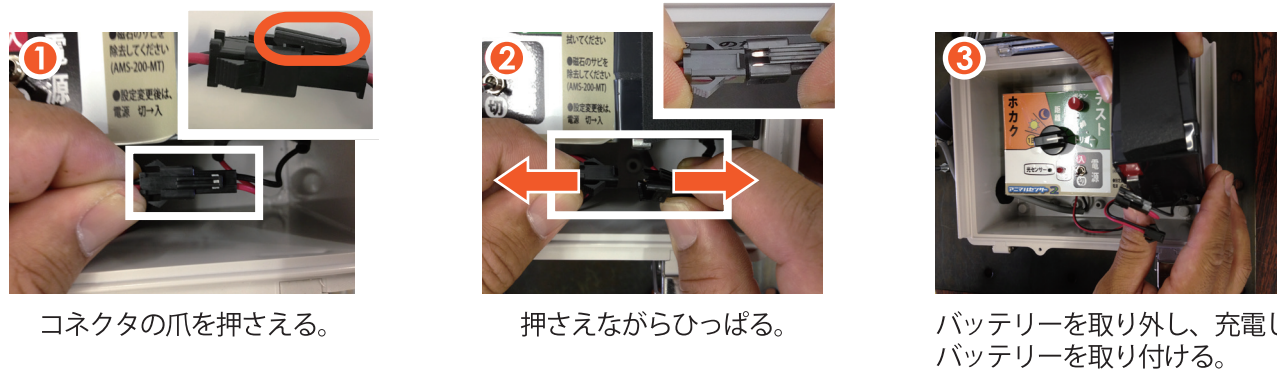
② バッテリーに接続。  
ランプが赤色になる。  
※緑色のままの場合、満充電状態もしくはバッテリー異常です。

③ ランプが緑色になると充電完了。  
充電器からバッテリーを取り外す。

④ AC100V 電源から充電器を取り外す。

## バッテリー交換方法

必ず電源が「切」になっていることを確認し、交換作業をおこなってください。  
電源スイッチを入れた際に、1分間 LED とブザーが点滅した時はバッテリー交換が必要です。



① コネクタの爪を押さえる。

② 押さえながらひっぱる。

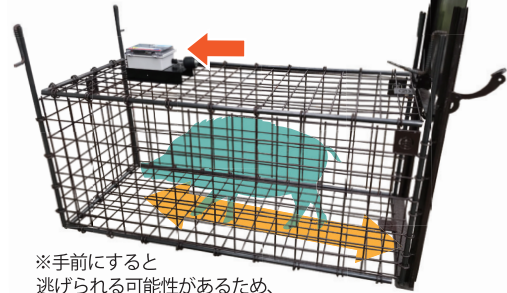
③ バッテリーを取り外し、充電したバッテリーを取り付ける。

## 設置と仕掛け方法

作業中は必ず電源を切った状態で実施してください

### 配置

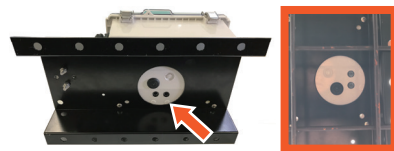
檻の中心から少し奥に配置



※手前にすると逃げられる可能性があるため、ゲートから1.5m程度離してください

### 置き方のポイント

センサーの位置がメッシュにかからないように配置  
※メッシュとかぶってしまうと距離センサーの設定ができなくなります



### 固定方法

付属のインシュロックや番線を使用し本体を固定してください



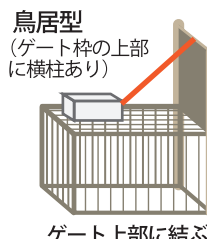
### 仕掛けのつけ方

#### ① ロープを結ぶ

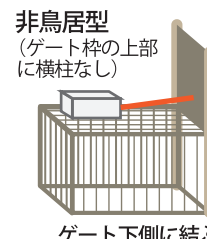
※檻の形状により、付属の滑車を活用してください



※見やすくするため付属品ではない色のロープを使用しています

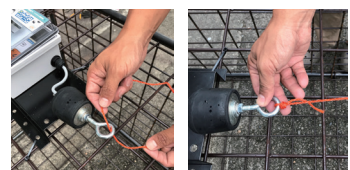


ゲート上部に結ぶ



ゲート下側に結ぶ

#### ② マグネットの輪にロープを通して結ぶ



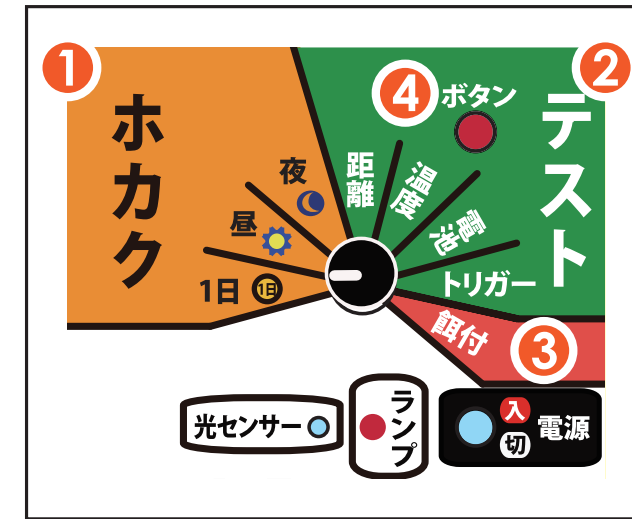
最後にストッパーを外す

## 操作・動作方法



ダイヤル変更後は必ず電源を一度切って、入れ直してください

電源を入れなおすことで、変更後の機能に切り替わります



### ① ホカク (捕獲) モード

捕獲動作を希望の時間帯に設定します

1. ダイヤルを「希望の時間帯」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. 設定したモードで稼働

夜 … 夜だけ監視し、反応すれば捕獲  
昼 … 昼だけ監視し、反応すれば捕獲  
1日 … 1日中監視し、反応すれば捕獲

※昼夜の状態は光センサーで判断します。  
※捕獲モード稼働の際はランプが約10秒間点灯します。  
※昼モード時は、周囲が暗いとランプが点灯しません。  
※夜モード時は、周囲が明るいともランプが点灯しません。

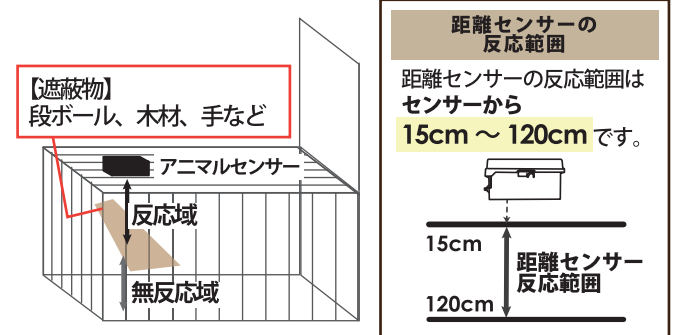
### ② テストモード

各機能の動作確認、センサー設定をおこないます

#### ● 距離

センサーが反応する距離の確認と設定

1. ダイヤルを「距離」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. センサー下の反応させたい高さに遮蔽物を置く
4. ④ボタンを長押し「ピーッ」と音が鳴り設定完了
5. 設定後、反応域に遮蔽物をかざすと「ピピピッ」と音が鳴ります。反応がないと音は鳴りません



#### ● 温度

センサーの反応を確認

1. ダイヤルを「温度」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. ランプが10秒間点滅
4. 手など温度のあるものをかざし、反応があると「ピピピッ」と音が鳴ります

#### ● 電池

電池の残量を確認

1. ダイヤルを「電池」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. ④ボタンを押し、ランプの点滅回数で残量を確認できます

点滅回数	4回	3回	2回	1回
電池残量	満タン	やや満タン	普通	少ない

#### ● トリガー

トリガーの動作を確認

1. ダイヤルを「トリガー」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. ④ボタンを押すとトリガーが作動します

### ③ 餌付けモード

餌付け時からセンサーの環境に慣れさせることで、スムーズな捕獲へ導きます

1. ダイヤルを「餌付け」に合わせる
2. 電源スイッチを「切」→「入」
3. 餌付けモード作動中に、距離センサー・温度センサーに目的の獣が反応した場合、④ボタンを押すとランプが点灯し、出没が確認できます

POINT  
捕獲ができる合図。捕獲モードに切り替えれば目的の獣を捕獲できる可能性が高まります。

※「餌付けモード」は24時間監視状態で電池の減りが早いので、こまめな電池交換が必要です。(1か月に1回の交換が目安)  
※万一の場合に備え、作業等でわな内に入る際は、必ず扉(ゲート)のストッパーをかけてください。

#### 餌付けモード\* (特許出願中)

- ・24時間センサー監視状態
- ・反応してもトリガーは作動しない

#### 捕獲モード

- ・警戒心のうすれた獣を捕獲



平成29年度農林水産省「野生鳥獣被害拡大への対応技術の開発委託事業」における兵庫県立大学・三重県農業研究所との共同開発